

新たな学校へ引き継ぎたいもの・ことについて

南第一小学校には、卒業生が作成した制作物や記念品など、様々な物品が多く残っています。これらは、南第一小学校が紡いできた大切な歴史です。

2022年度には、基本的な考え方から、継承・保存等の方向性を整理しました。今後は、継承・保存の方法等の詳細を決めていきます。

引き続き、新たな小学校が地域の方や卒業生の方に愛着を持ってもらえるよう、その歴史や想いを継承していきます。

1 南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会での検討結果について

基本計画検討会において、物品の継承・保存等の方向性についてまとめました。

(資料 3-1-2 参照)

<基本的な考え方>

継承内容・方法を整理するにあたり、使用した4つの視点です。

視点	内容
ア	教育活動への利用の視点
イ	学校施設における面積の視点
ウ	他施設等による代替の可能性の視点
エ	費用面の視点

2 検討スケジュール

年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
協議会の内容	継承・保存方法 検討、整理	保存・処分方法の決定 周知方法の決定			仮校舎 移転			新校舎 使用開始
町田市や 学校で 行う内容		移設するものの 仮校舎内での配置検討	デジタル保存 移設に向けた準備				移設に向けた 準備	

3 本日のワークショップについて

本日のワークショップでは、他市事例や想定している保存方法を踏まえながら、主に公開する方法や場所について検討します。

(1) 保存に関する他市事例

市	デジタル保存	保存の詳細
A市	なし	HPに物品のリストのみ掲載。 物品はメモリアルルームを用意してパネル展示。
B市	あり	デジタル保存は学校判断で残した例がある。 農具等の寄贈されたものは返却や他施設への寄贈を検討し、それ以外の物品は破棄した。石碑等も原則処分とした。
C市	なし	記念誌に残すかは学校に一任した。 農具は残す残さないを整理の上、一部のみ残すことにした。その他物品は処分の方向で検討中。
D市	なし	一部メモリアルルームに残した物品がある。
E市	あり	Youtubeに閉校式典や統合校の空撮映像を掲載。再生回数は2年で1,000~2,000回程度。

(2) 市で想定している保存方法

○デジタル保存

校舎の外観及び内観や物品等については、デジタル技術を活用して、以下の内容で保存し、視聴・閲覧ができるようにします。

- ① 校舎や校庭等をVRツアーができるようにする。
- ② 学校内を回遊するプロモーション動画を作成する。
- ③ 物品等を写真で保存する。
- ④ 上記①~③で保存した映像・画像は、新たな学校のホームページ等からいつでも視聴・閲覧ができるようにする。

○物品の展示

校旗や開校当時の写真といった、学校が歩んできた歴史が感じられる物品については、学校の判断によって現物を保存します。

また、現物保存する物品の展示場所について、新たな学校の壁面等のスペースを有効活用し、児童や来校者が常時閲覧可能な場所での展示を想定しています。詳細は、新校舎の設計を踏まえて判断します。



ショーケースによる展示の事例（中野区立令和小学校）

<ワークショップ>

- ① (2) デジタル保存①～③以外に、あったらいいと思う保存方法がありますか？
 ② デジタル保存したものは、どのように公開したらいいですか？

	お題	アイデア
①	(2) デジタル保存①～③以外に、あったらいいと思う保存方法	(例) 写真を撮る、動画を撮る
②	デジタル保存したものの公開方法や場所	(例) 町田市のHP で公開する